ＥＸＥ－ｉ グローバル中小型株式ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第４期（決算日2017年５月12日）

作成対象期間（2016年５月13日～2017年５月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＥＸＥ－ｉ グローバル中小型株式ファンド」は、2017年５月12日に第４期決算を行いました。

当ファンドは、主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第４期末（2017年５月12日）	
基準価額	14,968円
純資産総額	3,830百万円
第４期	
騰落率	25.2%
分配金（税込み）合計	0円

（注１）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
（注２）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注３）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記ＳＢＩアセットマネジメントのＵＲＬにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI Asset Management

ＳＢＩアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1
お問い合わせ先
電話番号 03-6229-0097
受付時間：営業日の9：00～17：00

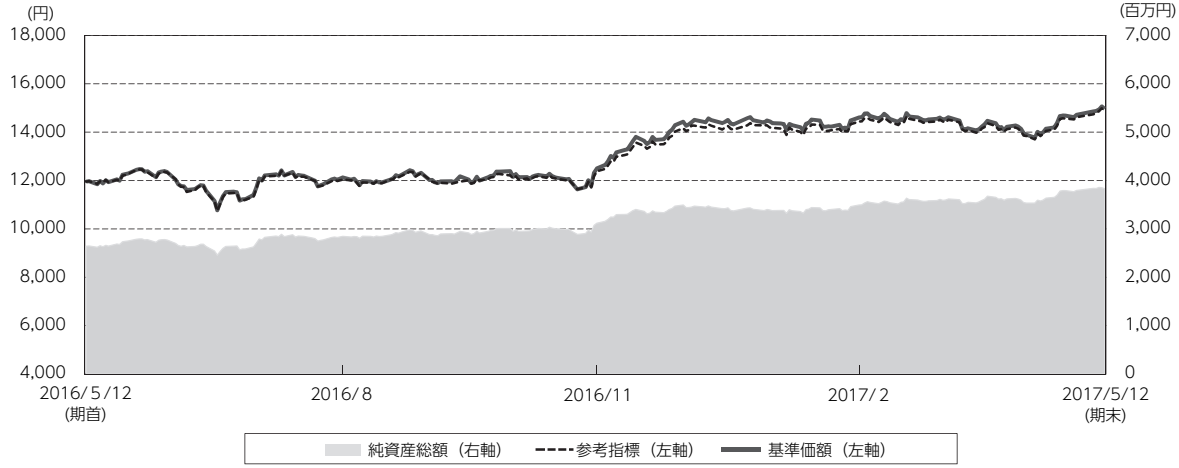
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

ＳＢＩアセットマネジメント
URL:http://www.sbiam.co.jp/
ＥＸＥ－ｉ 専用Ｗｅｂサイト
URL:http://www.sbiam.co.jp/EXE-i/
ＥＸＥ－ｉ Facebookページ
URL:https://www.facebook.com/sbiamexei/

運用経過

基準価額等の推移

（2016年５月13日～2017年５月12日）



期　首：11,954円
期　末：14,968円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：　25.2％

（注１）参考指標は2015年１月まではMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ（米ドルベース）を、2015年２月からはFTSE グローバル スモール・キャップ インデックス（米ドルベース）を委託会社で円換算しています。詳細はP11をご参照ください。
（注２）参考指標は、2016年５月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。
（注３）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

トランプ米大統領が掲げる政策への期待、石油輸出国機構(OPEC)による減産合意、欧州の政治リスク後退、円安などが上昇要因となりました。

下落要因

英国の欧州連合(EU)離脱決定、軟調な商品市場、トランプ米大統領の保護貿易主義による新興国への影響懸念、地政学リスクに対する警戒感、円高などが下落要因となりました。

１万口当たりの費用明細

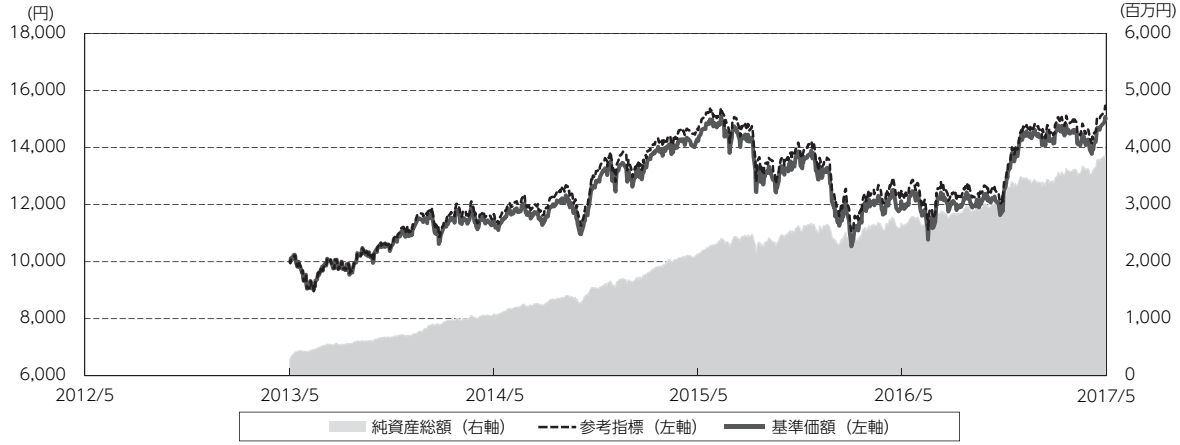
（2016年５月13日～2017年５月12日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	33	0.248	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(14)	(0.108)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(14)	(0.108)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.032)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.016	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.016)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.021	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合計	38	0.285	
期中の平均基準価額は、13,180円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）項目ごとに円未満は四捨五入しております。
（注４）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注５）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近５年間の基準価額等の推移

（2012年５月12日～2017年５月12日）



（注１）当ファンドについては設定日以降のデータが５年に満たないため、実在するデータ（2013年５月13日から2017年５月12日）のみの記載となっております。
（注２）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

	2013年５月13日 設定日	2014年５月12日 決算日	2015年５月12日 決算日	2016年５月12日 決算日	2017年５月12日 決算日
基準価額　(円)	10,000	11,327	14,289	11,954	14,968
期間分配金合計（税込み）　(円)	－	0	0	0	0
基準価額騰落率　(%)	－	13.3	26.1	△ 16.3	25.2
参考指標騰落率　(%)	－	15.7	27.5	△ 15.9	24.6
純資産総額　(百万円)	281	1,062	2,133	2,641	3,830

（注１）参考指標は2015年１月まではMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ（米ドルベース）を、2015年２月からはFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス（米ドルベース）を委託会社で円換算しています。詳細はP11をご参照ください。
（注２）参考指標の騰落率は、ETF購入後の2013年５月14日の値から計算しています。
（注３）参考指標は、2013年５月13日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。
（注４）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注５）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年５月12日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2016年５月13日～2017年５月12日）

＜中小型株式市場＞

期の前半は、英国のEU離脱の是非を問う国民投票や米連邦公開市場委員会(FOMC)における利上げ決定の有無を見定めたいという思惑から、上値が重い展開となり、その後英国のEU離脱が決定すると、世界的に全面安の展開となりました。７月に入ると、英国の次期首相が決まり政局への不安が後退したことや、良好な米経済指標、原油相場の回復を受けて上昇に転じました。しかし、９月に欧州中央銀行(ECB)が市場予想に反して金融政策を据え置いたことや、軟調な原油相場、米大統領選挙の情勢を巡る先行き不透明感を背景に上値が重い展開となりました。11月には、市場予想に反してトランプ氏が大統領選挙で勝利したことを受けて、値動きの激しい展開となりました。その後は同氏が掲げる減税やインフラ投資などの財政政策、金融規制改革に対する期待から米国株を中心に上昇しました。一方、新興国株式については、保護貿易主義による影響が懸念されたことから軟調推移となりましたが、OPECによる減産合意が決定されると、産油国を中心に上昇しました。期末にかけては、引き続き、堅調な米国株式が世界株式市場の上昇を牽引したほか、４月から５月にかけては、フランスの大統領選挙の結果を受け、EUの先行きに対する懸念が後退し、欧州株が急伸しました。日本株についてもリスクオンの円安が追い風になったことに加え、決算発表シーズンを迎え好業績銘柄が買われたことから上昇基調となりました。

＜為替＞

期首から11月にかけては、政府・日銀による円売り介入は困難との観測などを背景に円高が進みました。一時、原油価格の上昇や米利上げ観測の高まりから円安となる局面もあったものの、６月の英国国民投票でEU離脱派が勝利すると、欧州経済の先行き不透明感や金融市場の混乱への警戒感からリスク回避姿勢となり、一時99円台まで円高が進みました。その後、参院選で与党が勝利すると大型経済政策や追加金融緩和の期待から、107円台まで円安が進みましたが、黒田総裁がヘリコプターマネーを否定したとの報道が流れると再び102円台まで円が買われる展開となりました。８月には、米早期利上げが難しいとの思惑が伝わると急速に円買いドル売りが入り、一時99円台まで進みました。その後は落ち着きとともにドルが買い戻され、その後は100円台前半のボックス圏で推移しました。

11月から年末にかけては、トランプ米新大統領の誕生を分岐点として大きく円安が進む展開となりました。市場の予想外であった選挙戦でのトランプ氏の勝利が伝わると、一時はリスク回避の円買いとなりましたが、同氏の掲げる政策への期待から米10年債利回りが一気に２％台まで上昇すると、為替もドル高・円安に転じました。その後も、次期大統領の政策による米景気押し上げ期待や、堅調な米経済指標等を背景に円売り・ドル買いが続きました。

年明け以降、４月までは円高基調となりました。英国のメイ首相がEU単一市場から撤退すると表明したことや、トランプ米大統領の発言が意識され、円高・ドル安が進みました。その後は、米国の利上げペースが意識され、経済指標と米連邦準備制度理事会（FRB）の動向を注視しながらボックス圏での推移となりました。しかし、欧州の先行き不透明感が意識されたことや、３月のFOMCで利上げペースが据え置かれると円高に転じ、米軍によるシリア空爆の報道後や北朝鮮情勢の緊張などの地政学リスクの警戒感、フランス大統領選挙を巡る先行き不透明感が意識され、リスクオフの円高が続きました。５月に入ると、フランス大統領選挙で中道のマクロン氏が勝利したと伝わると欧州政治リスクの後退によりユーロ買いが進み、対ドルでも円安基調となり、期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（2016年５月13日～2017年５月12日）

モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言に基づいた基本投資割合に従い、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95％以上の高位を保ちました。

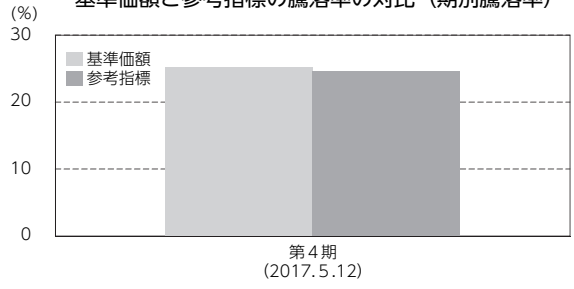
当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年５月13日～2017年５月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

基準価額と参考指標の騰落率の対比（期別騰落率）



（注）参考指標はFTSE グローバル スモール・キャップインデックス（円換算ベース）を使用しています。
詳細はP11をご参照ください。

分配金

（2016年５月13日～2017年５月12日）

当期は基準価額等を勘案した結果、収益分配は行わないことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第４期 2016年５月13日～ 2017年５月12日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,967

（注１）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注２）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資し、世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言を受け、原則として年１回基本投資割合の見直しを行います。

お知らせ

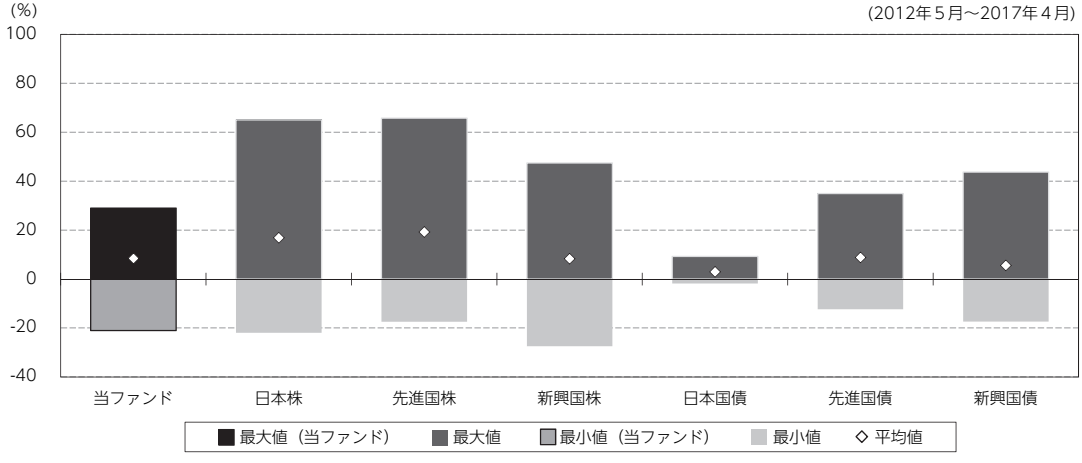
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（2013年５月13日設定）
運用方針	・主として世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ・参考指標は、FTSE グローバル スモール・キャップインデックス（円換算ベース）とします。（2017年５月12日現在） ・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として３カ月に１回、基本投資割合へ戻す調整を行います。 ・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として１年に１回行います。 ・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。 ・当ファンドの運用にあたっては、「モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社」の投資助言を受けます。
主要投資対象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資します。
運用方法	主としては世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合わせることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分配方針	毎決算時（年１回毎年５月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、分配方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	29.0	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 21.0	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 1.8	△ 12.3	△ 17.4
平均値	8.5	16.9	19.2	8.3	2.9	8.9	5.5

（注１）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）2012年５月から2017年４月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注３）当ファンドについては設定日以降のデータが５年に満たないため、2013年５月13日（設定日）から2017年４月28日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。
（注４）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

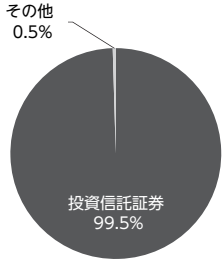
（2017年５月12日現在）

○組入上位ファンド

銘　　柄　　名	第４期末
	%
シュワブ U.S.スモールキャップ ETF	59.6
バンガード・FTSE・オールワールド（除く米国）スモールキャップETF	39.9
組入銘柄数	2銘柄

（注１）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

○資産別配分



○国別配分

○通貨別配分

（注１）資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
（注２）国別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。
（注３）国別配分は発行国を表示しております。
（注４）通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

純資産等

項　　目	第４期末
	2017年５月12日
純　資　産　総　額	3,830,853,524円
受　益　権　総　口　数	2,559,386,426口
１万口当たり基準価額	14,968円

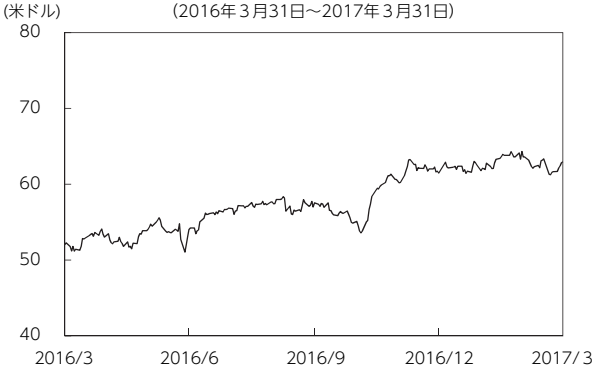
（注）期中における追加設定元本額は1,175,784,852円、同解約元本額は825,809,704円です。

組入上位ファンドの概要

シュワブU.S. スモールキャップETF

【基準価額の推移】

(2016年３月31日～2017年３月31日)



【組入上位10銘柄】

(2017年３月31日現在)

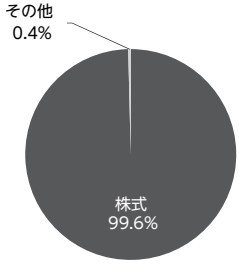
	銘　柄　名	比率
		%
1	Coty Inc. Class A	0.32
2	Envision Healthcare Corp.	0.28
3	Cognex Corporation	0.27
4	Colony NorthStar, Inc. Class A	0.27
5	Chemours Co.	0.27
6	ON Semiconductor Corporation	0.25
7	PacWest Bancorp	0.24
8	Teradyne, Inc.	0.24
9	Great Plains Energy Incorporated	0.24
10	WellCare Health Plans, Inc.	0.24
組入銘柄数		1,737銘柄

（注）比率は純資産総額に対する割合です。

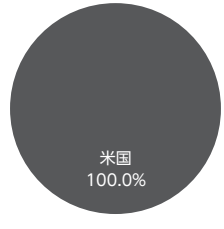
【１万口当たりの費用明細】

入手可能な１万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

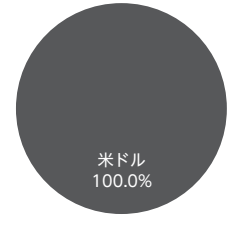
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注１）資産別・国別・通貨別のデータは2017年２月28日現在のものです。
（注２）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
（注３）国別配分は株式評価額に対する比率です。
（注４）国別配分は発行国を表示しております。

※Bloomberg及びCharles Schwab Investment Management, Inc.のデータを基にＳＢＩアセットマネジメントが作成

バンガード・FTSE・オールワールド（除く米国）スモールキャップETF

【基準価額の推移】

（2016年４月29日～2017年４月28日）

【組入上位10銘柄】

（2017年４月30日現在）

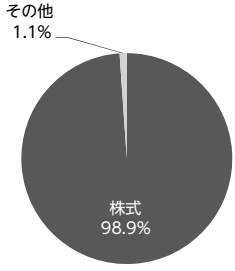
	銘　柄　名	比率
		%
1	Open Text Corp.	0.4
2	Dollarama Inc.	0.4
3	CCL Industries Inc.	0.3
4	First Quantum Minerals Ltd.	0.3
5	Gildan Activewear Inc.	0.3
6	Onex Corp.	0.3
7	Keyera Corp.	0.2
8	SpiraxSarco Engineering plc	0.2
9	Seven Generations Energy Ltd.	0.2
10	H&R REIT	0.2
	組入銘柄数	3,501銘柄

（注）比率は純資産総額に対する割合です。

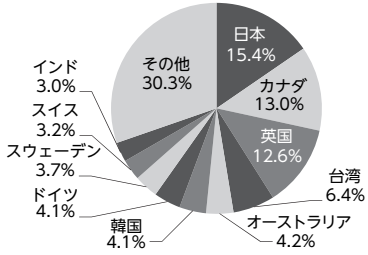
【１万口当たりの費用明細】

入手可能な１万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

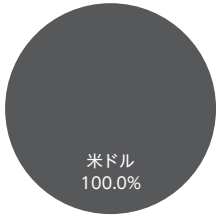
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注１）資産別・国別・通貨別のデータは2017年４月30日現在のものです。
（注２）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
（注３）国別配分は株式評価額に対する比率です。
（注４）国別配分は投資国を表示しております。

※Bloomberg及びThe Vanguard Group, Inc.のデータを基にＳＢＩアセットマネジメントが作成

＜当ファンドの参考指標について＞

参考指標は2015年１月まではMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ（米ドルベース）を、2015年２月からはFTSE グローバル スモール・キャップ インデックス（米ドルベース）を委託会社で円換算しています。

○FTSE グローバル スモール・キャップ インデックス
FTSE グローバル スモール・キャップ インデックスとは、FTSE社が開発した指数で世界の中小型株式市場全体の動きを表す指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. MorganSecurities LLCに帰属します。

ＥＸＥ－ｉシリーズ専用サイトのご案内

投資者の皆様に向けて、様々なコンテンツをご用意しています

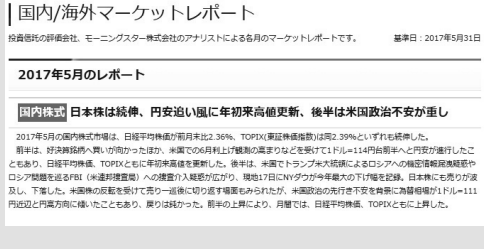
エグゼアイ　**検索**

「エグゼアイ」で検索いただくと専用サイトへ
アクセスできます
(「EXE-i」での検索でも可能です)

日々の基準価額や純資産総額、及びファンドの詳細ページへのリンクを掲載

月次マーケットレポート

当ファンドの助言会社でもあるモーニングスター社のアナリストによるマーケットレポートを毎月更新



インデックスファンドによろしく

漫画「ブラックジャックによろしく」のイラストを用いてEXE-iについて解説した漫画コンテンツ

※上記内容は2017年6月時点